

今大会における特記事項

新型コロナウイルス感染症対策について

各種全日本選手権の開催においては、「参加者管理」と「会場における感染防止対策」の2点を徹底する必要があります。参加される方全員が事前体調管理と現地行動管理にご協力いただくことで、大会全関係者の感染リスクを軽減した状態での開催が可能となります。より安心・安全な状態でフライングディスク競技の全日本選手権大会が再開できるよう、皆様のご協力をお願い致します。

「参加者管理」

参加者の中で1人でも管理範囲から外れた場合には、適切な感染対策が維持できなくなるため、以下の場合は、該当者の会場立ち入りと試合出場をお断りします。また、居住地域から会場への移動時や大会期間中は、可能な限り会場と宿泊施設以外への立ち寄りをお控えいただきますようお願い致します。なお、当
面は無観客にて開催するため、会場内への入場は、エントリーされた方（選手・チームスタッフ）のみとなりますので、ご了承ください。

- ・大会2週間前からの参加者情報収集（体調等）にて、1日でも登録漏れがあった場合
- ・大会2週間前からの参加者情報収集（体調等）の「体調等確認」に該当する項目が1つ以上ある場合
- ・会場で指定された出入口以外から1回でも入退場した場合

「会場における感染防止対策」

<ア 徹底した感染防止等>

1. マスク常時着用の担保

- ・マスク着用状況を確認し、個別に注意等を行い、マスクの常時着用を求められることができる体制整備
- ・マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布・販売を行い、マスク100%を担保

2. 大声抑止の担保

- ・大声を出す者がいた場合に、個別に注意等ができる体制整備
- ・スポーツイベント等でラッパ等の鳴り物を禁止し、個別に注意等ができる体制整備

<イ 基本的な感染防止等>

1. 手洗徹底

- ・こまめな手洗いの徹底

2. 消毒徹底

- ・主催者側による施設内（出入口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒

3. 換気

- ・法令を遵守した空調設備の設置、こまめな換気

- ・乾燥する場面では、湿度 40%を目途に加湿
4. 密集の回避
 - ・入退場時の密集回避（時間差入退場等）、待合場所等の密集回避
 - ・入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じ収容人数を制限
 5. 身体的距離の確保
 - ・大声を伴う可能性のあるイベントでは隣席との身体的距離の確保。具体的には、同一の観客グループ間（5名以内に限る。）では座席を空けず、グループ間は1席（立席の場合1m）空ける。
 - ・演者が発声する場合には、舞台から観客の間隔を2m確保
 - ・混雑時の身体的距離を確保した誘導、密にならない程度の間隔（最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔）
 6. 食事の制限
 - ・食事に感染防止策（パーティション設置又は人と人との間隔の確保等）を行ったエリア以外での食事の制限
 - ・休憩時間中及びイベント等の前後の食事による感染防止の徹底
 - ・過度な飲酒の自粛
 - ・食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、収容率が50%を超える場合、飲食可能エリア以外（例：観客席等）は原則自粛。（発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保、会話が想定される場合の飲食禁止、十分な換気、連絡先の把握、食事時間の短縮を行う場合に限り、食事可）
 - ・飲食提供者は不織布マスク着用を推奨（フェイスシールドのみは不可）
 7. 参加者の制限
 - ・入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置等（ただし、発熱者・有症状者の入場は断る等のルールをイベント開催前に明確に規定し、当該規定を十分周知している場合は払い戻し不要）
 8. 参加者の把握
 - ・可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握
 - ・接触確認アプリ（COCOA）や利用者のQRコード読取の奨励
 - ・イベントで感染者が発生した場合、迅速・確実に参加者に保健所等への相談を促すとともに、保健所が実施する疫学調査に協力する
 9. 演者の行動管理
 - ・有症状者は出演・練習を控える
 - ・演者・選手等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては開催を見合わせる
 - ・合唱等、声を発出する演者間での感染リスクへの対処
 10. 催物前後の行動管理
 - ・イベント等の前後の感染防止（交通機関・飲食店等の分散利用）の注意喚起
 - ・飲食及び宿泊時のガイドライン遵守施設利用の呼びかけ

11. ガイドライン遵守の旨の公表

・主催者及び施設管理者が、各業界団体等が作成する感染拡大予防ガイドライン又は国において示された業種別ガイドラインに従った取組を行う旨、HP等で公表

・FD競技に関するガイドライン（当協会作成）：

フライングディスク競技における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン ver. 4.0

<https://www.jfda.or.jp/web/wp/wp-content/uploads/2021/03/3660ab51c9e540e8c291bff8206ba121.pdf>

・スポーツイベントに関するガイドライン：

スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（日本スポーツ協会作成）

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline_ikkatsuban.pdf

・宿泊に関するガイドライン（山梨県）：

やまなしグリーン・ゾーン認証 感染症予防対策に係る基準（宿泊業）

<https://www.pref.yamanashi.jp/koucho/coronavirus/documents/syukuhaku0524kijyun.pdf>

・宿泊に関するガイドライン（愛知県・広島県・奈良県・熊本県）：

宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（第1版）

https://www.seiei-shien.jp/dl/taisaku/taisaku_guide_08hotel.pdf

<ウ イベント等の開催の共通の前提>

1. 入退場やエリア内の行動管理

・広域的なこと等により入退場や区域内の行動管理ができないものは開催を慎重に検討

2. イベントの開催時間

・19時まで

3. 酒類について

・主催者では提供しない

緊急事態宣言発令時の対応について

大会開催期間を基準として以下の通り判断をします。また、状況に応じて支出済費用を除いたエントリー費の一部返金についても検討します。開催ができない場合、延期による再実施ができるよう可能な限り調整をしますが、最終的に中止となった場合は、2019年度実績（2021年度地区予選組み合わせシード順）を参考にして本戦出場枠を付与することもありますので、ご了承ください。

- ・開催都道府県に発令の場合：延期 or 中止
- ・開催地区の一部に発令の場合：大会自体は原則として開催しますが、参加可否についてはチームや個人にてご判断をお願い致します。

主催大会注意事項

アンチ・ドーピング

・全ての当協会主催大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。

・本大会参加者は、メンバーエントリー手続きをもって、日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとします。

・20歳未満の参加者は、当協会会員登録・更新時に、ドーピング・コントロール（ドーピング検査を含む）に対する親権者からの同意を得ている場合に限り、メンバーエントリーが可能です。

・本大会にて行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることとなりますので、ご注意ください。

・大会内・大会外検査を問わず、血液検査対象となった参加者は、採血のため、競技・運動終了後2時間の安静が必要となります。

・日本アンチ・ドーピング規程の詳細及びドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のWEBサイト（<http://www.playtruejapan.org/>）にてご確認ください。

熱中症予防

・大会期間中に、黒球式熱中症指数計にて、暑さ指数を示すWBGT（Wet-bulb Globe Temperature）が28℃以上になった場合は、主催事業を中断もしくは中止とさせていただきます。

・大会参加時は、体調管理の自己管理をお願い致します。

・積極的な水分補給を心がけ、帽子や日傘等で直射日光を防ぐようにしてください。

・運動時に使用する保護具等（シューズ、グローブ、アンダーシャツ等）は、休憩時には外すなどし、身体の熱を逃がすようにしてください。

・具合が少しでも悪いと感じた場合、早めに運動を中止し、大会スタッフへご報告ください。

【参考】

・公益財団法人日本スポーツ協会 - 熱中症を防ごう

<http://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid523.html>

・環境省 - 熱中症予防情報サイト

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

・気象庁 - 熱中症から身を守るために

<https://www.jma.go.jp/jma/ki shou/ know/kurashi/netsu.html>

写真・映像撮影

本大会を開催している会場において当協会が撮影した写真・映像は、フライングディスク競技の普及を目的として、各種メディア（テレビ/新聞/雑誌/WEB等）及び当協会広報媒体において掲載される場合があります。メンバーエントリー手続き及び会場区域への立ち入りを持って、撮影・公表に同意したものとみなしますので、ご了承ください。

保険・怪我

・保険

競技中に発生した怪我に対応する傷害保険と、他人・物に損害を与えた場合の賠償保険に加入しています。受傷後に病院へ行く場合は、必ず事前に本部スタッフに報告の上、「事故報告書」を受け取り、後日速やかに当協会事務局へご送付ください。このプロセスを踏まない場合は、保険会社への連絡が出来ないため、大会期間中の怪我であっても保険対象外となりますのでご注意ください。なお、事故報告書は大会期間中のみお渡し致します。

・怪我

怪我の程度により、病院の紹介・救急車の要請等を行います。病院にかかる場合は【保険証】が必要となりますので、大会参加時は必ず「保険証（のコピー）」を持参して下さい。なお、大会期間中に発生した事故等に関して、当協会は一切責任を負い兼ねますので、ご了承ください。

会場利用

- ・各自で出したゴミは必ず各自でお持ち帰りください。
- ・貴重品管理は各チームにてお願いします。
- ・必要な食事（昼食等）や飲み物（試合中の補給用ドリンク等）は各自でご用意ください。
- ・会場における盗難、事故に関しては当協会では責任は負いかねます。
- ・大会会場での火気使用は一切禁止致します。
- ・ご来場の際は、原則として公共交通機関をご利用ください。

ユニフォーム

付帯資料 C：ユニフォームに関する規則（2017年発行 WFDF アルティメット公式ルール 付帯資料 v4.0 日本語訳 ver.1.1）を参照

悪天候時の対応

付帯資料 B：大会に関する付帯規則（2017年発行 WFDF アルティメット公式ルール 付帯資料 v4.0 日本語訳 ver.1.1）を参照

大会中止時の対応

自然災害や新型コロナウイルス感染症等の影響により、開催中止の判断をする場合があります。その場合、状況に応じて参加費の返金ができない可能性がありますので、予めご了承ください。

キャンセルポリシー

原則として、申込締切以降の自己都合によるキャンセル及び返金は受け付けません。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセルについては、ご相談の上で対応致します。

試合不成立について

- ・ 試合開始時に最低人数がフィールド上に揃わない場合、その試合は不成立となります（アルティメット：7人・ビーチアルティメット：5人・ガッツ：5人）。
- ・ 試合不成立の場合は、該当試合のスコアは記録せず、勝敗のみを記録します。
- ・ 試合中に最低人数未満となった場合は、その時点で試合不成立となります。
- ・ 試合不成立は1試合ごとに判断し、他試合への影響はありません。
- ・ 大会当日の試合不成立を事前に防ぐため、推奨エントリー人数（10人）を設定しています（最低7人）
- ・ ミックス部門の場合は、アルティメット（男性4人と女性4人）、ビーチアルティメット（男性3人と女性3人）が最低人数となります。

不正出場について

- ・ 参加登録をしていない選手が試合に出場した場合、大会中の全試合を没収試合とし、大会公式記録の認定はしません。
- ・ 不正出場が発覚した場合、当協会の懲罰規程に則り、対応致します。